

Niigata HIGASHI Weekly Report

新潟東ロータリークラブ週報
No.2895 / 2017.8.25



国際ロータリー第2560地区
新潟東ロータリークラブ
会長:水本孝夫
幹事:野澤 修
編集:広報委員会
www.niigatahigashirc.com



- <司会> 池田 江里子 SAA
- <斉唱> ソングリーダー: 親睦委員 安藤 幸夫 君
- ・ロータリーソング「それこそロータリー」
- ・会 歌「それこそ仲間」2番



水本 孝夫 会長 挨拶



ロータリーの奉仕の理念の源流について

1905年2月23日、親睦を目的としてシカゴにてロータリークラブは活動を開始しました。当初は「奉仕の理念」はありませんでした。お互いの商売を利用して金儲けするという物質的相互扶助の考えしかありませんでした。

1908年にシカゴクラブに入会したアーサー・フレデリック・シェルドンが、当時誰もがお考えなかった「奉仕の理念」をロータリーに提唱しました。

それは、「継続的な事業の発展を得るためには、自分の儲けを優先するのではなく、自分の職業を通じて社会に貢献するという意図をもって事業を営むべきである。」という考え方です。

さらに「良好な労働環境を提供するのは資本家の責務であると考え、資本家が利益を独占するのではなく、従業員や取引に関係する人たちと適正に再配分することが、継続的に利益を得る方法で

あり、事業が発展していく最良の方法である。」と考えたのです。いわゆる修正資本主義の考えです。

そして、このような経営方針で自らの事業が発展していけば、同業者の人達はこれを真似るに違いない。それによって業界全体のレベルアップにもつながっていく。これが [he profits most who serves the best] [最もよく奉仕する者、最も多く報いられる] のもう一つの意味です。

今では当たり前のようにになっている考えなのですが、今から100年近く前の当時は、このような考え方で事業を営んでいる人は誰一人としていなかったそうです。

当時のロータリアンは、この修正資本主義の経営学を実践していったおかげで事業拡大ができ、それがロータリーの発展に大きく繋がっていったということです。

ゲスト・ビジターの紹介



● のんびり青山
葉梨さん、加藤さん



● 地区青少年奉仕委員会 ライラ委員会委員長
新発田城南RC 尾田 一雄 さん

表彰

- 100%出席 バッチの贈呈
梅沢 賢介 君(2年)、田淵 展子 君(3年)、
山田 克明 君(5年)

委員会・同好会報告



- R財団
村山 栄一 君
宮川忠和君から\$100の寄付がありました。



- 青少年奉仕委員会
安達 博 君
7/15～16、インターアクト参加



- 野球同好会
野澤 修 君
先週土曜日北クラブと対戦して黒星



- 広報・会報・雑誌委員会
佐々木 彰 副委員長



【ニコニコBOX】

村山 六郎 君

野澤 修 君
野球同好会リーグ戦準決勝で敗退をしましたが10月21日の本線は優勝目指して頑張ります。皆様、応援よろしくお願ひします。

中川 一広 君
残暑かな？梅雨かな？とにかくお互い元気で過ごしましょう。

田淵 展子 君
100%出席バッチ3年
あっ!と言う間の3年、これからも宜しくお願ひ致します。

村山 六郎 君
8月16日昼、事務所出入口にて失神・転倒・救急車。即日入院、昨日退院。湿疹の原因解明へ心電計本日装着。尚、脳神経に特段異常なしとのこと。

委員会・同好会報告

- 野澤幹事
会員増強について

会員スピーチ「会員増強に関して」



- 会員増強委員会
高橋 英樹 委員長

次回例会 9月1日 卓話「商業界ゼミナール」
(株)田中屋本店 代表取締役社長 田中雅史 氏(新潟南RC)

本日の出席率 65.00% / 2週間前メイクアップ後 83.33%

